

Rikkyo Club of Executives & Professionals 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：大塚裕司 編集人：松原伸禎 事務局：TEL.03-3985-3135 <https://www.r-keizaijin.net/>

つながれ! 立教 ONE TEAM

～おかげさまで40年～

立教経済人クラブはおかげさまで発足して40年という節目の年を迎えることができました。

これもひとえにクラブの発展に貢献してこられた諸先輩方と、大学・校友会をはじめとした関係諸団体の皆様からのご支援の賜物と感謝申し上げます。

この40年間諸先輩方が積み上げて来られた立教経済人クラブの輝かしい歴史の上に益々の発展を目指して、運営委員会は今年度「つながれ! 立教 ONE TEAM ～おかげさまで40年～」という周年コンセプトを掲げ、活動してまいります。

諸先輩方のたゆまぬ努力で導かれた貴重な活動成果を受け継ぎ、これからのクラブの更なる発展を目指す記念事業や収支計画を各委員長が立案し、コロナ禍という難しい時期ではありますが、万全の対策の上実行してまいりますので是非ご期待ください。 —40周年実行委員長 昆 凡子 S54仏—



建学の精神をたづねて

～ドクター・トイスラーと渋沢栄一～

神保町シンクタンク 黒田裕治 (1978年3月 法学部卒)

プロフィール／1955年7月4日 広島県尾道市生まれ。立教高等学校 立教大学を経て、近畿日本ツーリスト株式会社に勤務。2012年、独立して安曇野シンクタンク創立に加わり、現 神保町シンクタンクを主宰。トラスポヘルスケア販売株式会社創立

*煉瓦づくりの立教の建造物と渋沢が立ち上げた煉瓦工場の関わり

ウィリアムズ主教が活躍した江戸末期から明治期。その同時期に活躍した明治時代の近代日本の歴史にとって最も重要な人物の一人がいよいよ大河ドラマに登場します。徳川幕府最後の将軍慶喜に使え、その後の明治維新の激動期にも大活躍し、そして立教との関わりが大変強い、築地の聖路加病院の設立にも関わった渋沢栄一との接点をたづねてまいります!

さて、赤レンガといえば西洋化のシンボリック的存在ですね。東京駅も深谷の煉瓦工場(渋沢栄一が設立に関わる)で作った煉瓦を使用して作られています。

立教大学の煉瓦の造建物は、明治21(1888)年に設立された金町煉瓦会社で製造されたものを使用しています。これらのレンガを非常に手間がかかるフランス積みで施工しています。作業に当たった当時のレンガ積み職人の高い技量がうかがわれます。現在の葛飾区東金町8丁目の江戸川沿いにある旧金町煉瓦所跡付近で操業していた金町煉瓦は、分工場を設けるようになりますが、大正7(1918)年に渋沢栄一らが経営する日本煉瓦製造株式会社と合併しました。

耐火建築として大変優れている煉瓦ですが、耐震にも耐えられる工夫が施され、平成10(1998)年から翌年にかけてレンガ造建造物では日本で最初の免震工法工事を行っています。耐震補強が行われ、関東大震災クラスの地震まで耐えられるようになっていきます。立教学院諸聖徒礼拝堂 チャペル等は東京都選定歴史的建造物となっております。未来につないでいきたい建造物ですね。

*聖路加病院の設立と渋沢栄一

さて、築地が発祥の地である、立教大学と聖路加国際病院はともに築地で生まれた米国聖公会の機関ということもあり、その関係性には密接なものがありました。例えば、聖路加病院が開設された築地居留地37番は、ウィリアムズが私財を投じて購入した土地で、病院開設前は、立教の校舎(当時は、立教大学校)が建っていた場所でした。居留地37番を後にした立教は、居留地57～60番へと移転しますが、その場所こそ、記念碑が据えられている、現在の聖路加国際大学の敷地なのです。



聖路加国際病院は、1902年(明治35)に米国の宣教師ルドルフ・トイスラーにより「聖路加病院」として創立されました。この病院には渋沢栄一が深くかかわっています。渋沢栄一は1914(大正3)年7月より聖路加国際病院の評議員副会長、会計監督に就任、1919(大正8)年から没年

に至るまでは評議員長、委員長を務め、1923(大正12)年の関東大震災や、1925(大正14)年の火災で病院が被害を受けた際には、支援の手を差し伸べています。1928(昭和3)年3月5日、病院の事業拡張に際し、米国の支援者に寄付金を募るため、渡米を予定していたトイスラーの家で評議員会が開催されました。この日の評議員会で栄一が語った内容が、次のように紹介されています。「子爵はトイスラーさんの帰国の際『国際病院の存在に依つて、恩恵を蒙つて居るのは主として日本人である。それなのに其復興費全部を合衆国に求める事は誠に相済みぬ。貴下が合衆国に於て寄附金を集めるにしても「日本では何の尽力もしない」と云ふ感を合衆国の人々に与へては具合が悪いだらう。



依つて其一助として合衆国から輸入する病院の建築材料に対して、関税を免除して貰ふか、それが出来ないならばそれを補ふべき方法を講じるから、其点は安心して帰国なさい』と言ったそうです。トイスラーさんは350万ドルの寄附金額を得るつもりで帰国されました。

渋沢はこの約束履行のため、大蔵省他当局に折衝を重ねました。そのおかげで、現在ではこんな立派な病院になりました。

渋沢はこの約束履行のため、大蔵省他当局に折衝を重ねました。そのおかげで、現在ではこんな立派な病院になりました。

*トイスラーと立教大学

ルドルフ・トイスラーは1881年に父を病気で亡くし、信仰が厚く愛情深い母から厳しくしつけられ、巡回裁判所裁判官の伯父からキリスト教精神に導かれてリッチモンド(バージニア州)で育つ。1894年に18歳でバージニア州立医科大学を卒業、大学院課程に進みインターンとしてニューヨークのニューヨーク大学附属ベルビュー病院(英語版)ほかメリーランド州ボルティモア、カナダのモントリオールやケベックの医療機関で研修を受ける。帰郷すると21歳で病理学と細菌学の准教授として州立大学の医学専門学校に着任、メリー・ウッドワードと結婚する。いとこのイーディス・ボリング・ゴート・ウィルソン(英語版)はウッドロウ・ウィルソン大統領夫人である。トイスラーが日本で医療活動を始めるおよそ40年前、1859年にチャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が長崎に上陸した時からアメリカの聖公会は日本において宣教を始めた。大阪からやがて東京へ進むとチャニングは1874年(明治7年)、築地に立教学校を創設しており、医療伝道として病气やけがの治療をしている。聖路加病院の設備の充実も進んでいた。アメリカで聖公会の募金活動が行われトイスラーは帰国して講演をして回り、日本でも広く資金の提供を呼びかけると後藤新平、大隈

重信や渋沢栄一も寄付している。聖路加病院は1917年に診療所時代の名前から聖路加国際病院に改称。トイスラーは働きを増すにつれて日本の医療をよくする方法を考えあぐねていた。医学のレベル、病院の施設・設備、看護婦の能力。アメリカと比べ、何をどう高めるか。来日した1900年の4月に米国へ留学させた荒木イヨ氏が帰国してみせた看護教育の成果と比べると、日本の看護婦はもっぱら医師の診療を助ける者として働いていることに気づくのだ。仕事をしながら訓練を受けて実務を覚え、患者の看護を十分にできる看護師の養成、看護教育がトイスラーの大きな課題となる。

*救急医療と人道支援の道

やがて日本は第一次世界大戦に参戦、シベリアへ兵を送る。アメリカは1918年6月にシベリア出兵を決め、7月、トイスラーは米国赤十字社に中佐相当としてシベリア一帯で救急医療と人道支援につくすよう請われる。赤十字はアメリカからシベリア鉄道沿いの主要都市に医師のほか150名以上の看護婦を送り込んだ。シベリアでトイスラーはアメリカの看護婦の水準の高さを目のあたりにする。シベリアほどの厳しい条件でも力を発揮する彼女たちは看護を体系的に学び医療の現場で実習を通して技術を身につけてきており、その看護教育を日本にもたらすことを発想したと考えられる。トイスラーは日本に戻ると病院が女学校を卒業した女性を採用し、2年間看護学を教えながら病院で実習を受けさせる道づくりにとりかかる。当時のアメリカの標準に近づけることを目指すと日本の学制が変わる節目をとらえて1920年に病院の敷地内に聖路加国際病院附属高等看護婦学校（現・聖路加国際大学）を設立。看護教師アリス・C・セントジョンをアメリカから招いて開校する。トイスラーの理想とする看護教育は単なる職業訓練に終わるものではなく、社会性を備え人間と社会を理解できる看護職を育てることであり、そのため入学資格を高等女学校卒業生と決める。当時の看護婦教育には生徒の学歴や人間性に配慮する観点はなく、入学者に高学歴を求め卒業まで3年も教育することは前例がなかったのである。看護教育を充実させる計画はさらに進み、看護婦養成の3年の課程に1年の研究科を加えた国内初の4年制女子専門学校として文部省に認可を申請、1927年に承認を得る。こうして日本の医療水準の向上のために大学相当の水準の看護教育へと発展していく。ところがアメリカ式の看護教育を始めると3年目の1923年、関東大震災で被災し病院が倒壊してしまう。入院患者の手当てを続けながら診療を再開する場所を確保することが急がれ、めどがつかずトイスラーは病院再建の資金集めに駆け回って、1925年に来日したポール・ラッシュほか、日本の教会関係者も募金に力を添えた。この1920年代、アメリカのロックフェラー財団に書簡でたびたび連絡をしていたという。日本の医療の水準を高めるには看護職および医師の研修が必要と考え、その後もロックフェラー財団と交渉して援助をとりつけ、日本人医学生33人をアメリカで留学・研修させている。皇室、米国聖公会、米赤十字などの寄付により病院再建計画を進めたトイスラーは建築家のアントニン・レーモンドに設計を依頼し1933年に新しい病院が完成する。患者に限らず医療従事者も快適な病院の環境を設け、人々に癒しがあるように病室から見下ろせる空

間にチャペルをおいたのである。病院のあるべき姿を説いて、そのことばを院内に掲示した。

This hospital is a living organism designed to demonstrate in convincing terms the transmuting power of Christian love when applied in relief of human suffering.

— Rudolf B. Teusler (1933) —

キリスト教の愛の心が人の悩みを救うために働けば苦しみは消えてその人は生まれ変わったようになるこの偉大な愛の力をだれもがすぐわかるように計画されてきた生きた有機体がこの病院である トイスラーの胸像が聖路加国際病院の旧館に立ち、その住まいは大学の敷地に保存されている。

*立教大学と聖路加国際病院の深い絆

立教と聖路加の理事会メンバーの約半数が兼務で、トイスラーも、1927（昭和2）年から、亡くなる1934（昭和9）年まで立教の経営法人の理事を務めていました。こうした両者の密接な関係性を背景として、立教に医学部を設置しようという構想が、たびたび試みられていました。戦時下には、立教と聖路加を合併して、立教大学に医学部を設置する計画が進められました。文部省の内諾を得るところまでいきましたが、最終的には、病院を管轄する厚生省の反対などもあり、計画は挫折してしまいました。また、戦後の学制改革による新制大学の設置（1949年）に際しても、医学部の開設が決定され、理学部がその前段階教育を担うものとされていました。しかし、肝心の聖路加の病院施設は、GHQによる接収（1956年まで）を受けていたこともあり、実現には至りませんでした。立教大学は、10学部27学科を擁する総合大学へと発展し、聖路加も、聖路加国際病院と聖路加看護大学が一体となり、聖路加国際大学へと飛躍を遂げました。そして、立教大学も、聖路加国際大学も、世界の約120大学とともに「世界聖公会大学連合」（CUAC）に加盟し、「アングリカン・コミュニオン」（世界の聖公会）の広がりの中でつながっています。

*まとめ

この原稿を執筆中の夜中にもあの大震災を連想させる巨大地震が発生しました。関東でも震度4を記録しました。2011年3月11日、そう10年前のあの日、母校はいち早くキャンパスを解放し、帰宅困難者や学生教職員含め5300人を受け入れました。トイスラーが提唱した「生きた有機体の病院」の思想が根底にある立教の素早い対応力にアルムナイの我々は心から感謝と誇りを持ち、それぞれの場所で実践していきましょう。



参考

聖路加国際病院 HP 立教大学 HP 渋沢栄一記念財団 HP 深谷市 HP Wikipedia

第2回 勉強会

2020年10月6日(火)19:00よりオンライン(Google Meet)を利用しての第二回勉強会が行われました。今回は元某金融機関執行役員・融資部長の方を講師にお迎えして「元ベテラン銀行員が教える金融機関との付き合い方」をテーマに、洗練されたユーモア溢れる論調でオンラインであることを感じさせない臨場感の中、ご講演をしていただきました。講演は、経営資源であるヒト、

モノ、カネ、情報をカネの切り口から金融機関との付き合い方を講師がご経験された様々な実体験を踏まえた内容で、幅広い年齢層の皆様より数多くの質疑応答を頂戴し、大変有意義なオンライン勉強会となりました。ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。また次回もより多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。
—山内 桂太 H11立高一

第3回 勉強会

講師：ハートアンドブレイン(株) 代表取締役 村上和徳氏

2020年12月2日(水)19:00よりオンライン(Zoom)を利用しての第三回勉強会が行われました。今回は大手IT企業の営業成績下位者の再生プログラムが「奇跡の研修」と呼ばれ長年にわたり実施する、ハートアンドブレイン株式会社代表取締役村上和徳氏を講師にお迎えし、「コロナ禍のサバイバル経営術と営業4.0」をテーマに、先の見えないコロナ禍における今後1年間の経済環境の分析から変容していく社会に企業としてどのように対応すべきか、最新の科学技術のトレンドなど事例を交えながら具体的にお話いただきました。

今回も幅広い年齢層の皆様よりご参加頂き、また数多くの質疑応答もお寄せくださり、大変有意義なオンライン勉強会となりました。ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。また次回もより多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

ハートアンドブレインの村上です。今回は「コロナ禍のサバイバル経営術と営業4.0」と題し、お話をさせていただきます。

まず、今後一年間の経済環境について結論から申し上げますと、実体経済はすぐには戻らないと思われれます。金融マーケットは暴走し続け、事業経営者はWithコロナでの経営を余儀なくされるでしょう。この厳しい海流の中で泳ぎきらなければならぬというのは来年も変わらないでしょう。話を始めるにあたり、私が経営の上流をお話する際に大事にしていることがあります。会社経営を船に例えると、風向きは自身で変えられないが、帆の向きは変えられるという点です。海流にうまく乗って経営するのと、海流に抗って経営するのは使う体力が違います。経済がどの流れに向いているか見極め、しっかりした潮流に乗らなければなりません。まずはトレンドをおさえ、経営の戦略を考えていくべきだと考えています。

■コロナ禍による金融緩和と株価

コロナ以上の死亡者を経済によって出すわけにはいかない、ということで世界が躍起になって株価を支えている状況です。2020年になって米国の連邦準備理事会(FRB)がドルを刷り始めました。ヨーロッパではECB、日銀も続いてお金を発行し、刷ったお金がそのまま株式市場に流れ込み、NYダウや日経平均も上値を更新し続けています。これは従来型のケインズの経済理論ではなく、現代貨幣理論(MMT)という経済学の新しいモデルで説明できます。簡単に言えば、自国の通貨で赤字国債を買ったり、自国の株式市場に介入したりしても、それは負債勘定に入れなくても良い、という理屈です。実

体経済は反映しない金融経済となっており、金融経済が会社を潰さないで済むという状況を作っている間に、ワクチンを開発してコロナを抑え込む、というのが世界的な暗黙の了解となっています。

■コロナ禍による心理変容

では個人はどのような心理変容を起こしたのでしょうか。コロナ前はルイ・ヴィトンのバッグでしたが、Withコロナになってヴィトンよりマスクになってしまいました。海外旅行はNetflixに取って代わりました。日本の風物詩とも言うべき通勤時の満員電車は、在宅ワークに転じました。経団連などの要請により上場企業は従業員の半分に対しリモートワークを要請されています。

■日本的経営と

GAF(Google, Amazon, Facebook, Apple)

さて、コロナウイルスの感染拡大で大変な状況ですが、今年は日本的経営に対して、振り返る良い機会ではないかと考えています。皆さんは日本的経営というものに対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。まじめ、責任感、封建的といったイメージがありますね。一方GAFはどうでしょうか?楽しいとか、自由とか、革新的というイメージで、若者が楽しみながら働いているイメージがあります。日本的経営の良さと言われる点を集団心理とすると、もはや今の時代にそぐわなくなっており、コロナ如何にかかわらず、日本企業は一度その経営スタイルを反省しなければならないのでは、と思っています。なぜなら、こうした感性でやっていると、新しいやり方で大成功したい、という集团的欲求よりも、「失敗したくない」という欲求

のほうが強くなってしまふからです。GAFAにおける集団心理は「他者よりも早く失敗したい」という欲求になります。市場に問いかけて散々叩かれながら、完成品を目指していく、という経営スタイルです。GAFAは細かいことを考えるよりも、必要最低限さえあれば良いと割り切った上でコストダウンを推進し、市場との対話の中でむしろ本当に必要な機能だけを絞り込んで商品を開発していくのです。

■デジタル・コア・インフラストラクチャーの革命

今や第四次産業革命と言われてます。これからの経済のトレンドを作っていく旗手と呼ぶべき技術は以下の6つです。

1. 画像認識 AI
2. ロボティクス
3. 遺伝子組み換え技術
4. ブロックチェーン
5. 量子コンピュータ
6. プログラムを書く言語処理 AI

これらがベースとなり、従来のアナログ型の社会インフラはカスタマイズされ、劇的に変化するでしょう。テクノロジーは指数関数的に進化していくので、人間の進化に比べ、途方もない速さです。現代社会人はその進化に対して心理的ストレスを負うかもしれません。

■知的財産資本主義社会の到来

事業を営む者として資本主義の変遷もトレンドとしておさえておくべきだと思います。農業資本から商業資本、工業資本、そして金融資本の時代を経て、これから5つめの軸として、知的財産資本主義社会の到来です。これからは特許権や実用新案、意匠権やデザイン、著作権、ノウハウなど、知的財産が資本財の軸になっていくだろうと考えています。人間のアイデアや工夫、発想自体が、これからの資本軸として、大きな影響を資本主義社会に与えるでしょう。

■21世紀はデータの時代

20世紀は石油の世紀と呼ばれました。では21世紀は何の世紀でしょうか。21世紀の石油と呼ぶべきものは間違いなくデータです。データといかに向き合うか、ということは今後ビジネスと向き合う上でどの企業の経営者も避けては通れないテーマです。20世紀は生業のベースとして人との強い繋がりを求められましたが、21世紀でキーとなるのが弱い繋がりで、Facebook のいいねに代表される関係ですが、この弱い繋がりの中でビジネスを組み立てていくという時代に入りました。

■これからどう生き残るのか?

コロナ禍という異常事態でどうしても超短期的な「不

足」に意識が集中してしまいがちになります。そのため、本来の重要課題、重要経営課題をおろそかにしていませんか?重要課題のうち、一番にやるべきことは、緊急かつ重要なことです。二番目にやるのが重要で、「緊急性が低く、重要なこと」です。なぜかという、「緊急性が高く、重要性が低い」ことは、重要ではないのだから、後回しでも良いのです。この「緊急性が低く、重要なこと」こそ、経営課題を緊急性が低いうちに取り組んで、解決することが大事です。緊急性が高くなると、重要なことなのに、判断を誤ってしまいます。

■営業 4.0 「SLP 理論」

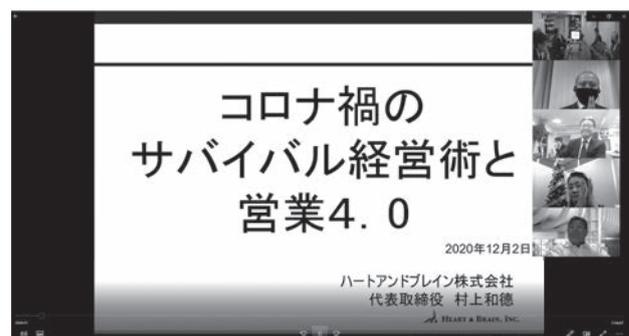
最後になりますが、私が取り組んでいる営業 4.0 について少しお話させていただきます。営業 1.0 とは御用聞き営業、営業 2.0 とは古き良き昭和スタイルの根性・努力・浪花節と呼ばれるノルマ営業、営業 3.0 とは顧客に解決策を提案するソリューション営業のことです。最低でもソリューション型になっているべきですが、これからの営業 4.0 は、セルフリーダーシッププロセス理論に基づき、ワクワクするように、無意識の力を活用できるように営業プロセスを構築すべきという考え方です。以下、概略です。

1. 目標は自分で決める
2. Want to で取り組む
3. サーボメカニズムを活用する
4. 15 の営業プロセスを構築する
5. アプローチマネジメントを行う
6. オキシトシン営業を実践する

営業プロセスをしっかりと組み立てて PDCA を回すと、科学的にどこがボトルネックになっているかがわかり、その部分を改善していくと徐々に営業マン個人の属人的パワーではなく、組織営業戦略ごとにチームとしてパフォーマンスが発揮できるようになっていきます。従来型の昭和スタイルの営業から脱却し、弱い繋がり、強みの可視化、リモート営業へとシフトしていく必要があります。さらにコロナの影響でさらに早くその変革を余儀なくされた、というのがこの一年間だったのではないのでしょうか。

駆け足でお話しましたが、聞いていただき心から感謝しております。ありがとうございました。

—松原 伸禎 H12史—



第4回 勉強会

講師：(株)タイミー 代表取締役 小川 嶺氏

2021年2月18日(水)19:00よりオンライン(Teams)を利用して本年度第4回目の勉強会が行われました。今回は立教大学在学中に株式会社タイミーを創業、現在も経営学部在学中の代表取締役の小川嶺氏に「現役立教生起業家が語る今後の展望」と題して自身が立ち上げたタイミーのビジネス展開の紹介から、立教大学に対する熱い思いまでご講演いただきました。

小川氏は中学入学から立教一筋の現役立教生起業家であり、お父様も立教OBとのこと。戸井田立教学院理事長にもご参加いただく中、小川氏のお父様の同級生である経済人クラブ会員からも多くの質問が寄せられ、終始和やかな雰囲気が進み、あっという間の90分でした。ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。また次回もより多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

株式会社タイミーの小川と申します。本来ならば対面で諸先輩方にお会いしたかったのですが、本日はオンラインにてお話をさせていただきます。

私はスキマバイトアプリ"Timee"というサービスを運営しています。アプリ一つですぐに働けて、すぐにお金がもらえるというバイトサービスです。まず自己紹介させていただきます。1997年生まれの23歳で現在立教大学の経営学部在学中で、中高大と立教に在籍しています。中学高校ではサッカーや生徒会活動に熱中し、大学1年時に慶應のビジネスコンテストで優勝、大学2年時に株式会社Recolleを立ち上げるなど様々なチャレンジを経て、大学3年時にタイミーをリリースしました。

■タイミーを思いついた瞬間

タイミーを思いついた瞬間は、「金欠」でした。アルバイトで稼いだお金で学生エンジニアを雇うなどしていました。自分のためにすぐに働けて、すぐにお金がもらえるサービスが必要だったのです。起業をして大きな会社を作るぞ、という思いよりも、自分が欲しいサービスを作ってみようという思いが、今のタイミーに結実しました。

■タイミーの仕組み

タイミーは派遣会社でも求人サイトでもありません。「働きたい時間」と「働いてほしい時間」をマッチングするスキマバイトアプリです。今すぐ働けるというのが一番大きな特長ですが、応募も面接もない、という点が画期的です。自己申告でスキルや経験を申告し、働いた後の相互レビューで判断する、という仕組みになっています。また、働いた後すぐに入金する、というのもポイントで、勤務終了後すぐにお金が振り込まれるという仕組みを持っています。働いて欲しい企業側も当日にシフトの欠員が出たり、教育してもすぐに辞めてしまったり、繁忙期だけ増員したい、など様々なニーズがあると思

ますが、タイミーで解決することができます。現在リリース後登録店舗数が約3.4万店舗以上、ワーカー数が170万人の方々にご利用いただいています。

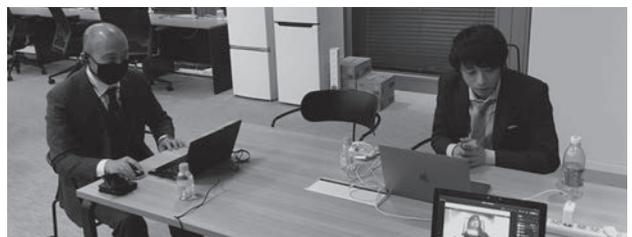
■一人一人の時間を豊かに

タイミーは働く会社であると思われがちですが、働くことを通じてその人の人生を豊かに、可能性を広げていく会社としてチャレンジしていきたいです。自分自身もタイミーに関わることで人生が変わった一人です。働く人自身がやりたいと思うことがやれる世界を、タイミーがしっかり支援できるよう、今後も展開していきたいと思

■立教への思い

立教出身の経営者のイメージですが、ベンチャーでやられている人はそれほど多くないのでは、と感じています。先日も戸井田理事長と話をさせていただきましたが、学内に理系人材が少ない、というのがウィークポイントではないかと思っています。イノベーションを起こそうとする際はエンジニアの力が必要です。優秀な文系人材が育っても、理系人材とのマッチングがないと立教だけでベンチャーを作ることが難しいではないでしょうか。いかに理系人材、エンジニアの知識を育てていけるかが、今後立教大学発のベンチャーを増やすという面では大事なのではないのでしょうか。また、経営学部の授業で、先輩経営者と接する機会があり、大きな刺激を受けました。現役の学生代表として、学生とOBを密に繋げる架け橋になれるのであれば、是非自分が担っていきたく

—松原 伸禎 HI2史—



40周年記念式典のご案内

【日 時】 2021年10月26日(火)
18:00～ 講演会
19:30～ 懇親会

【場 所】 ホテルニューオータニ 芙蓉の間

※コロナ禍での開催となるため、実行委員会を中心に会場ホテルとも入念な打ち合わせを続けており、最善のコロナ感染症対策(距離を保つ、消毒の徹底等)を講じて開催させていただきます。

※これまでのように会員をはじめご参集の皆様が自由に懇親を深めることに一部制限がかかりますがぜひご参加ください。

講演会の部では、株式会社リクルートホールディングスの峰岸真澄様(S62経)の講演を予定しております。

懇親会の部では、会員の皆様をはじめ、学校関係者、立教関係の諸団体からご来賓の方をお招きする予定です。着席のフルコーススタイルの中で、ビッグバンドによるBGMや、応援団、チアリーダーの演技、豪華抽選会をお楽しみいただく予定です。

難しい時期ではありますが、立教の経済人が集まり、一緒に活動することで生まれる「楽しさ」を感じていただき、記念事業を通してクラブの拡大、活性化のきっかけとしたいと考えております。ご多用中恐縮ではございますが、是非とも多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

尚、ご参加のお申し込みは8月頃に改めてご案内をお送りいたします。



❖ 広告出稿のご案内

2021年度に発行を予定している「40周年記念会報特別号」および、2021年9月/2022年3月発行予定の「立教経済人クラブ会報」への広告のご出稿を募集しております。立教経済人クラブ会員に配布される会報には計3回広告が掲載されます。

また、立教経済人クラブホームページのバナー広告としても年度末まで掲載させていただきます。企業PRの一環としてぜひ、広告の出稿をご検討ください。

❖ 景品ご協賛のお願い

当日はラッフルのチケットにてご参加いただける「豪華景品抽選会」を開催予定です。つきましては、個人、企業様一押しの商品など、可能な範囲で景品のご提供を賜りたくお願いいたします。お品物のPRとしてもぜひご活用ください。

広告出稿、景品ご協賛の詳細については、当クラブホームページの特設コーナーをご覧ください。



新しく会員に なられた方々

(敬称略)

飯塚 智洋 H6 経営

(株)アオ ASOBI BAR pier69
〒107-0052 港区赤坂 2-17-72-B1
TEL : 090-8486-7760
E-Mail : pier69.ao@gmail.com
パー・バル

浦谷 明 H4 経営

ワオ(株) 代表取締役社長
〒150-001 渋谷区神宮前 3-1-25
神宮前 IK ビル 6F
TEL : 03-5414-5085
FAX : 03-5414-5086
E-Mail : uratani@wao-cart.com
屋台デリ・社食デリ・お弁当デリの運営

川手 雄矢 H22 経営

富士器業(株) 代表取締役副社長
〒110-0061 千代田区神田三崎町 3-10-10
FK ビル
TEL : 03-3263-2041
E-Mail : Yuta.kawate@fujikigyo.co.jp
商社

川手 洋一 S50 経営

富士器業(株) 取締役会長
〒101-0061 千代田区神田三崎町 3-10-10
TEL : 03-3263-2041
FAX : 03-3263-2063
E-Mail : kawate@fujikigyo.co.jp
キッチン用品の総合商社をめざしています

小林 哲也 H7 法

(株)ウルフギャングステーキハウスジャパン
ゼネラルマネージャー
〒107-0061 港区北青山 2-5-8
TEL : 03-5843-0822
E-Mail : tony.kobayashi@wdi.co.jp
外食産業

近藤 将人 H10 社会

富士器業(株) 代表取締役社長
〒101-0061 千代田区神田三崎町 3-10-10
TEL : 03-3263-2041
FAX : 03-3263-2063
E-Mail : m.kondo@fujikigyo.co.jp
家庭用品卸売業

佐々木 貴則 H12 法

ハートフルデイズ 代表
〒359-1103 所沢市向陽町 2181-32
TEL : 090-4055-3117
E-Mail : sasaki-heartfulldays@happy.zaq.jp
人事コンサルタント業

染谷 美樹 H28 法

モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所
アンシエイト
〒100-6529 千代田区丸の内 1-5-1 29F
E-Mail : msomeya@mofo.com
弁護士事務所

中川 弘規 H6 経営

(株)コミュニティセンター 代表取締役
〒176-0006 練馬区栄町 2-10
セレス 21-B1
マンション管理代行業

三竹 麻子 H19 ビジネスデ

(株) A&CO 代表取締役
〒102-0093 千代田区平河町 1-3-6
BIZMARKS 麹町 3F
TEL : 03-6868-3934
E-Mail : mitake@a-andco.jp
人材紹介業、コンサルティング業

鷺尾 精一 S62 経営

湘南信用金庫 理事長
〒238-8616 横須賀市大滝町 2-2
TEL : 046-825-3385
FAX : 046-822-9520
E-Mail : hishoka@shonan-shinkin.jp
信用金庫業

ゴルフを楽しむ会

2020年12月12日(土)、立教経済人クラブゴルフを楽しむ会を東千葉カントリークラブで開催いたしました。今回は新型コロナウイルスの影響で、通常のゴルフ会は見合わせましたが、ゴルフ自体は密になるスポーツではありませんので、少人数でパーティーもしないで、ゴルフだけを楽しめれば!と思い開催させていただきました。

いつものハンディ戦ではなく、各自お持ちいただく景品もなく、今回限りのダブルベリア方式にして行いました。天気も良く、風もほとんどない、絶好のゴルフ日和でした。ほぼ名誉だけになってしまいますが(^_^)

優勝は out 54, in 43 の 97 で回りました金原宏和さん (S60 観) でした。

パーティールームは利用せず、食堂の一部を広く使わせていただき、上位の成績発表のみで、集合写真も撮らずに速やかに解散となりました。次回は2021年7月を予定しております。普通に開催できます様に祈りつつ、皆様のご参加をお待ちしております。

—長倉 一裕 S59法—

編集後記

昨年は例年になく、会食が減る一年となりました。パソコンの前で過ごす時間も増え、外出が減った一方、Facebook やネットニュースで母校の記事を見ることが増えたように感じています。それをパラダイムシフトと言うと大げさですが、「SNSの活用」や「リモートワーク」それを踏まえた「働き方改革」も急速に進んでいくのかもしれない。と気取って書いていても「やっぱり仲間とは会って、酒を酌み交わすのが楽しいよね」という思いがムクムクと湧き上がってくるのが昭和生まれの性。顔を見て、本音で話して笑い合う生活が好きなのは変わりません。様々な年代の同窓と一同に会って思い出話や情報交換を出来るのが、いかに貴重だったかを今更ながら痛感します。会報が皆さまに届く時はもう春。年度が替わり、清々しい空気と共に気分も一新できることを願っています。今日は佐野元春さんの「SOMEDAY」を聞きながらお酒でも。立教に乾杯!

—村上 直人 H6立高一—